

新幹線プレス

2015年1月23日

No.205

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

えっ！ユニオンが要求して改善??

不思議な不思議なユニオン組合揭示

東一運・東二運で1月21日に年休の抽選方法と発表方法を改善するという業務揭示が出された。ところで、揭示や情報をほとんど出したことのない東一運・東二運のユニオン分会が会社揭示と歩調を合わせるかのようにおなじ日に、ユニオンが会社に要求して改善が実現したという主旨の揭示を出した。

しかし不思議なことに、この間のユニオン掲示板や情報を見る限りでは、要求を出しているとか、会社と交渉しているというようなことはまったく明らかにされていない。この間の「ユニオンニュース新幹線」を見ると、業務委員会が開催されたのは昨年10月15日たったの一回である。本当に要求していたのか怪しいものである。

ユニオン揭示によれば、昨年秋に組合員の声を受けて要求したのだそうだ。年休問題はずっと何年も職場で問題になっているというのになんという間延びした活動だろう。会社揭示だって「以前から声が出ており」といっているというのに。

ところで年休問題は抽選方法や発表方法だけの問題ではないはずだ。ユニオンはいったいどんな要求をだしたのだろうか？本当に要求したのなら会社はどのような回答をしたのだろうか？などは深まるばかりだ。

私たちJR東海労は何年も前から年休の完全消化を求めて闘ってきている。年休の申し込み方法や発表の改善も要求している。今年度も、年休問題の解決を求めて新幹線地本は昨年2月、3月、8月、今年1月と連続して会社に申し入れを行っている。(私たちはユニオンと違いちゃんと情報で報告している)職場でもみんなで会社への抗議を取り組んできている。今回の改善はJR東海労の闘いの成果である。

昨年秋にようやく要求？いつ要求？どんな要求？いつ会社と協議？なんで揭示に出さなかったの？見かけだけの労働組合がすぐばれるうそを揭示に出しても恥をかかだけだ。ユニオン組合員はみんな笑っているぞ。